

## 式 辞

暖かな春の息吹が感じられる今日の佳き日に、教育振興会会長 吉田幸廣様、若杉会会長 米倉健一郎様をはじめ、卒業生の保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに第六〇回卒業証書授与式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。本日の式典は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年と異なる形での開催となりますことについてご理解ください。

ただいま、卒業証書を授与した53名の卒業生のみなさん、卒業おめでとう。心より祝福します。

皆さんは新巖木高校の記念すべき第一期生として入学しました。以来、日々の学習活動、部活動やあいさつ運動、そしてボランティア活動にも意欲的に取り組み、落ち着いた学校の雰囲気づくりなど、新巖木高校の礎作りに大いに貢献してくれました。

部活動や生徒会活動では、アーチェリー部の全国選抜大会出場、美術部の県総文祭特選や九州総文祭出品、書道部の全国書道展特賞など、数々の「巖木の奇跡」を見せてくれました。

また、学校行事では、コロナの中、生徒会メンバーを中心に工夫を凝らした学校祭を開催してくれました。感染防止に配慮しながらも新しいスタイル「応援演舞」を取り入れ、全校生徒が一丸となり盛り上げた若杉体育祭。放送部が丹精込めて制作した「学校紹介ビデオ」や書道部のパフォーマンスビデオ上映など新たな試みに彩られた文化フェスタ。全校生徒の力で巖木高校に新しい歴史を刻んでくれました。

さて、卒業するみなさんの中には、特性を伸ばそう、やり直そう、あるいは学び直そうという意欲を持ち、全県募集枠で入学したみなさんと従来の西部学区枠で入学したみなさんがいます。一人ひとりそれぞれの思いを持ち入学し、その後、募集枠の垣根を越えて喜びを分かち合い、時に助け合い、そして支え合いながら、つらいことや苦しいことをともに乗り越えてきました。皆さんは、この経験を通してお互いの個性を理解し尊重することができる、他人を思いやる優しい心や豊かな人間性を身につけてくれました。

さらに、本校の特長である体験的な学習や学び直しの学習など多様な学習機会をとおして、地域の方々の暖かなご支援をいただき、みなさんが心身ともにたくましく成長し、ついに就職や進学の進路先を決定し本校を巣立っていく姿を見届けることは、大変嬉しく感慨もひとしおであります。

しかし、新型コロナウイルスが今年度の学校生活に与えた衝撃は甚大で、特に生徒諸君の不安や戸惑いは計り知れないものがありました。授業や部活

動での活動が厳しく制限される中、マスク着用、手指消毒、あるいは教室の換気を徹底すること等で感染防止に力を尽くしてくれました。が、それでも全国高校総体を始めすべての大会やコンテストが中止となりました。

そんな時、SSP杯が開催され、本校のアーチェリー部、卓球部、サッカー部、そして野球部の諸君に最高の舞台が与えられました。「苦しむ県内の高校生にどうにかして三年間の集大成の場を」という関係者の熱い思いがすべての高校生の心に届いたことだと思います。

さて、各々の進路に向かって旅立つ皆さんに、はなむけの言葉を送ります。

All our dreams can come true if we have the courage to pursue them.  
-Walt Disney

「夢を追い続ける勇気さえあれば、誰もが夢を叶えることができる」

この言葉は、あのミッキーマウスを生み出した、ウォルトディズニーの言葉です。“夢は叶う、夢が叶う”というスローガンを持つ巖木高校を卒業していく皆さんに相応しい、素敵な言葉です。

巖木高校の校訓である「若杉の君(おしえ)」の若杉が、「厳しい寒さの中でも真一直ぐ成長を続ける」ように、これからの長い人生、夢を持ち、その夢を追い続ける勇気を持ち、そしてその夢を叶えてください。

終わりとなりましたが、保護者の皆様一言ご挨拶を申し上げます。本日のお子さまのご卒業おめでとうございませう。お子様の晴れ姿をご覧になり感慨もひとしおかとお推察いたします。こうして新巖木高校一期生の卒業を迎えることができましたのも、保護者の皆さまの本校の教育活動に対する深いご理解と温かいご支援のおかげであります。全教職員を代表し、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございました。お子様の卒業後も、巖木高校に対し側面からのご支援をいただけますと幸いです。

卒業生の皆さん、社会は君たちを必要としています。巖木高校での学びと成長に誇りを持ち、周囲に対する感謝の気持ちを忘れず、これからも成長を続けてください。皆さんのこれからの人生に幸多からんことを切に祈念して、式辞いたします。

令和三年三月一日

佐賀県立巖木高等学校

校長 坂本 康晴